

『令和6年能登半島地震』義援金について

令和6年能登半島地震により被災された皆さまへ、心からのお見舞いを申し上げます。


令和6年1月11日から2月29日までの期間、ユニオン店頭へ設置致しました募金箱へ皆さまからお寄せ頂きました義援金と弊社からの義援金をあわせまして、3月19日に日本赤十字社沖縄県支部へ寄付しましたことをご報告いたします。

皆さまの温かいお気持ちに感謝申し上げます。
ご協力ありがとうございました。

寄付金総額 1,730,899円

お客様(店頭募金箱合計)	730,899円
株式会社野嵩商会(ユニオン)	1,000,000円

被災地域の皆さまのご安全と、一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。



ペースを利用できる特典もある。

ホテルの社長を務める仲田哲善氏は19日の記念式典で「地域力の結集、地域資源の活用、経営資源の結集を運営の柱に地域のホテルとして沖縄観光の発展に貢献したい」とあいさつした。

(政経部・銘対一哲)

能登地震義援金
野嵩商会173万円
日赤県支部へ託す

フレッシュプラザユニオンを展開する野嵩商会(宜野湾市、仲村明社長)は19日、能登半島地震の義援金として、日本赤十字社県支部に173万899円を託した。改装する1店舗を除く全19店舗に設置した募金箱で集めた分と、野嵩商会の100万円を合わせた。

県支部の上間司事務局長
|| 写真右 || に義援金を手渡した田中雄一社長室長 || 同左 || は「お客さまから、何か支援したいという声があった。被災地支援のために役立ててほしい」と話した。